

<< テーブルオフィシャル'sマニュアル >>

茨城県U12カテゴリー部会
2019.5.18 (改訂版)

※ゲームの開始と終了時に立ち上がってあいさつする必要はありません。

●ショットクロックオペレーター

1. 24秒ルール用の装置またはストップウォッチを使って秒数をはかります
2. 次のとき、24秒計を動かし始めます。

①ジャンプボール後、どちらかのチームがボールをコントロールしたとき

②リングにふれたボールを、コート内のプレーヤーがコントロールしたとき

③スローインのとき、コート内のプレーヤーにふれたとき

★ディフェンス、オフェンスのプレーヤーは区別されません。

【ストップウォッチを使用する時】
黄色と赤色の小ばたを使って24秒の経過(けいか)を表示します。
残り10秒から5秒までは黄色、残り5秒から0秒までは赤色で表示します。
この時小ばたはしっか

3. 次のとき、ショットクロックは止めますがリセットはしません。(残りの秒数は表示する)
次のことが起こった結果、それまでボールをコントロールしていたチームに引き続きスローインのボールが与えられるときは24秒(計)を止めますがリセットしません。(24秒計を止めたとき24秒にもどさず、残りの秒数からスタートします)

①ボールがアウトオブバウンズになったとき

②ジャンプボールシチュエーションになったとき

③ダブルファウルがつけられたとき

④そのほか審判が特別な処置をするとき

※アウト・オブ・バウンズとは
コートの境界線(ライン) および境界線の外側の床にボールが触れたときのバイオレーションのことを言います。

4. 次のとき、ショットクロックを止めて24秒にリセットします。(秒数は表示はしない)

①シュートが入ったとき

②相手チームがボールをコントロールしたとき

③ファウル、ヴァイオレーションがつけられ、スローインがあたえられたとき

④フリースローがあたえられたとき

⑤その他、審判から指示があったとき

★アウトオブバウンズでボールをコントロールしていたチームに引き続きスローインがあたえられた時をのぞく

★テクニカルファウルのフリースローをのぞく

5. 次のときは、ショットクロックを14秒にリセットします。

①ボールがリングにふれたあと、それまでのオフェンスがリバウンドを取ったとき(コントロールしたとき) ※フリースローの時も

②リバウンドでディフェンスのタップでアウトオブバウンズになり、オフェンスがスローインするとき

③リバウンドでオルタネイティング・ポゼッション・ルールによりポゼッション・アローの向きでオフェンスがスローインするとき

6. 注意点

①もっているボールをたたき落とされたり、パスしたボールが相手チームにふれたりしても、相手チームのプレーヤーがボールをコントロールするまでは、チームとしてのボールのコントロールは終わりません。(24秒計は止めません。)

★ボールのコントロールは、ボールをつかんだり、キャッチしたり、ドリブルする等のことをいいます。

②ボールがシューターの手からはなれてリングにふれなかったときは、バックボードにふれても24秒は終わりません。

④残り時間が14秒より少ないときは、新たな24秒ははからなくて24秒計の電源をOFFにします。

③リバウンド、ルーズボールのあらい中は計り始める事はありません。
オフェンスリバウンド
⇒14秒リセット
ディフェンスリバウンド
⇒24秒リセット